

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
ホームページアドレス  
<http://matsukyouikukai.main.jp/>  
発行者 清水昇  
編集 調査研究部

## 心が通い合う教育会に



会長  
清水 昇



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
松山市立子規記念博物館 監修

5月1日から新元号「令和」が始まり、気品の中にも和やかな新しい時代の幕開けを感じるような気持ちがいいたします。会員の皆さま、お元気ですか。

私は会長職をお引き受けし、2年目を迎えました。昨年の教育会情報第95号に「現職の先生方には教育会の活動をより知っていただき参加してもらいたい、OBの先生方には相互親睦に加えて、多忙な現職の先生方のために学校への協力や支援を少しでもお願いしたい」と書かせていただきました。お陰さまで、支部研修会や懇親会を始め、夏季休業中の教育講座やまつやま教育フォーラム、教育を語る会などの事業にも現職の先生方にたくさんご参加いただきました。また、多くの支部からは、学校に協力や支援をしましたとの活動報告をいただいております。

さて、5月18日には定期総会を開催し、活動方針や事業計画が承認されました。今年度も本会の目的である会員相互の親和提携と教育に関する調査研究及び会員研修の充実を図り、松山市教育の進展に寄与していきたいと思っています。

今年度は活動方針のもと、特に次の3つに重点的に取り組みたいと考えています。

1つ目は、**組織の活性化**です。現職とOBを合わせて3000名以上の会員を擁していますが、毎年減少が続いています。現職・OBともに教育会の良さを知っていただき、入会者を増やしていく必要があります。現職の先生方には、新学習指導要領でも話題になっている小学校のプログラミング教育に関する講座を新たに開設していきます。

2つ目は、**広報活動の充実**です。会員有志の努力で、昨年度は教育会のHPを開設することができました。年間の本部の活動やブロックの活動などがアップされ、他ブロックの活動の様子も知ることができるようになりました。今年度はさらに、各支部の活動についてもHPにアップしていただき、情報や交流の輪を広げていきたいと思っております。

3つ目は、**学校教育活動への協力と支援**です。学校現場は現在、「学校における働き方改革」が進められています。しかし、教師の多忙感は解消されていません。このような学校現場の現状を考えると、少しでも先生方のために協力や支援をしていきたいと考えています。

今年度も、一人一人の会員が健康で生き生きと学校や地域で生活し、子どもたちの育ちに関わり、会員同士の交流を深め、心が通い合う松山市教育会の1年でありたいと願っています。

# 平成30年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

## 1 会員構成

		平成30年度	平成29年度	増減	備考
正会員	現職	2,115名	2,095名	20名	会費納入者数
	O B	875名	896名	△21名	
特別会員(O B)		24名	24名	0名	
準会員		3名	2名	1名	元会員家族
賛助会員(PTA等)		17名	25名	△8名	
合計		3,034名	3,042名	△8名	

## 2 役員 (任期2年の1年目)

会長	清水 昇	副会長	忽那 義博
副会長	橋本 雅邦	監事	道上 修二
副会長	砂田 孝夫	監事	岩本 正昭
副会長	小坂 真也		

※理事・専門部員は省略

## 3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	24	会計監査	監査
4	24	役員会(会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	11	第1回 理事会・専門部会	総会資料の審議
5	15	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	19	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出(全議案原案通り可決)
5	19	会費集金開始	納入期限 7月6日
5	29	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	6	第1回 支部長・事務局長会	専門部の活動計画
7	26	教育講座①	特別支援教育(川本 孝 先生)
8	6	教育講座②	教育相談(富田 和宏 先生)
8	23	日連教桐生大会	～8月24日(桐生市市民文化会館)
8	22	支部活動費支給	～9月7日
8	28	高齢者慶祝記念品配布	～9月17日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	5	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
9	7	第3回 理事会・専門部会	教育功労者選考、まつやま教育フォーラム等運営審議
9	28	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件、懇親会
10	28	えひめ教育の日推進大会	西予市宇和文化会館で開催
11	10	まつやま教育フォーラム30	講演「2つのプロ野球～NPB(日本野球機構)と四国アイランドリーグ」講師 河原 純一 氏
11	20	役員会	本年度事業の反省と来年度事業の方向付け
1	12	教育を語る会	講演 『「働く」・「自立」することで、強さと優しさが循環する社会づくりを目指して』(株)マルク代表取締役 北野 順哉 氏(市教研と共催)
1	20	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に10名の参加要請
1	31	第4回 理事会	本年度の反省と来年度の計画
2	15	第3回 支部長会	本年度の反省と来年度の計画

## 4 主要行事及び専門部活動

- (1) 「まつやま教育フォーラム30」  
 11月10日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事  
 ア 開会式 報賞者(14名)  
 イ 講演会 演題 「2つのプロ野球～NPB(日本野球機構)と四国アイランドリーグ」  
 参加者 110名  
 講師 愛媛マンダリンパイレーツ  
 監督 河原 純一 氏  
 ウ 懇親会 参加者41名(内、高齢慶祝者6名出席)
- (2) 調査研究部  
 ア 教育講座  
 ① 「特別支援教育講座」  
 7月26日(木曜日) 34名 出席  
 講師 県総合教育センター 川本 孝 先生  
 ② 「教育相談講座」  
 8月6日(月曜日) 52名 出席  
 講師 県総合教育センター 富田 和宏 先生

- イ 会報「松山市教育会情報」  
 95号(6月1日発行) 96号(10月1日発行)  
 97号(2月1日発行)  
 ウ 「文教月報」執筆協力
- (3) 福利厚生部  
 ア 文化講座  
 (ア) 俳句交換会 毎月 講師 吉田 晃先生  
 13名 講師 近藤 良郷先生  
 (イ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後)  
 16名 講師 藤本ヨガ学院の先生  
 (ウ) 川柳教室 月1回(第3水曜日)  
 13名 講師 栗田 忠士先生  
 (エ) 囲碁将棋教室 月1回(第1土曜日午後)  
 18名  
 (オ) 詩吟教室 月2回(月曜日午前)  
 15名 講師 伊賀上峰山先生

- イ 慶弔関係
  - (ア) 高齢慶祝者
    - 傘寿(本年度中に満80歳を迎えられた方) 21名
    - 白寿(本年度中に満99歳を迎えられた方) 0名
  - (イ) 教育功労者(平成29年度分)……総会にて表彰
    - 県表彰 栗田 忠士 氏(湯山)
    - 市表彰 関谷 省三 氏(さくら)
    - 高橋 桃恵 氏(和気小)
    - 山本千鶴子 氏(久米小)
    - 山本英津子 氏(味生第二小)
    - 伊賀上三津子 氏(小野小)
    - 二宮眞由美 氏(福音小)
    - 道上喜美子 氏(窪田小)
    - 平井 有年 氏(東中)
    - 大本 武 氏(久米中)
- (ウ) 報賞者(本会役員在任4年以上の退任者)
  - ………フォーラムにて表彰
  - OB会員 3名
  - 現職会員 11名
- (エ) 現職表彰祝金該当者
  - 文部科学大臣教育者表彰 1名
  - 文部科学大臣優秀教職員表彰 1名
  - 愛媛県優良教員表彰 5名
  - 愛媛県教育選賞表彰 3名
- (オ) 会員物故者
  - 会員 34名(含現職会員)
- (4) 対策部
  - ア 教育を語る会………1月12日(土曜日)
    - ※市教研と共催で実施
    - 講演 『「働く」・「自立」することで、強さと優しさが循環する社会づくりを目指して』
    - 講師 (株)マルク代表取締役 北野 順哉 氏
    - 参加者 約200名
  - イ 松山市青少年健全育成市民大会参加

## 平成30年度 決算書

歳入

松山市教育会

款	項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付 記
I		総収入	9,121,827	9,141,346	19,519	
	1	繰越金	1,601,327	1,601,327	0	前年度からの繰越金
	2	会 費	7,475,000	7,495,000	20,000	2,500×(875+2,115)+1,000×20
	3	助成金	20,000	20,000	0	
	4	雑収入	25,500	25,019	△ 481	利息・その他

歳出

款	項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付 記
II		総支出	9,121,827	7,541,738	1,580,089	
	1	県教育会納入金	2,992,500	3,000,000	△ 7,500	1,000×(875+2,115)+500×20
	2	事務局費	532,200	466,752	65,448	
		① 事務手当	375,000	375,000	0	職員手当
		② 事務用品費	50,000	13,202	36,798	用紙・封筒・文具等
		③ 通信運搬費	107,200	78,550	28,650	切手・はがき・送料等
	3	会議費	660,000	541,800	118,200	
		① 総会費	240,000	197,810	42,190	旅費・会場費
		② 理事会費	150,000	100,800	49,200	旅費・会場費(4回)
		③ 支部長会費	215,000	190,860	24,140	旅費・会場費(3回)
		④ その他の会議費	55,000	52,330	2,670	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
	4	支部活動費	1,281,500	1,267,250	14,250	各支部へ(950×875+2,000×83) ブロックへ(30,000×9)
	5	調査研究費	89,000	66,444	22,556	教育講座・部会費等
	6	福利厚生費	1,140,000	971,676	168,324	慶弔費・文化講座, 囲碁大会・部会等
	7	対策費	78,000	65,500	12,500	研修会・部会等
	8	広報費	267,000	244,944	22,056	「市教育会情報」3回発行
	9	記念事業費	525,000	366,403	158,597	「フォーラム30」(えひめ教育の日関連事業)
	10	日連教大会費	160,000	7,000	153,000	旅費・参加費(桐生大会)
	11	補助金・負担金	592,909	543,969	48,940	組織部等補助金・各種団体負担金
	12	予備費	803,718	0	803,718	

差引残高

次年度への繰越金	1,599,608
----------	-----------

# 令和元年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

## 1 活動方針

### (1) 組織の活性化

- ・支部活動及び地域ブロック活動の充実・強化
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化
- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・新退職者及び未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実・強化

### (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化  
（「教育講座」の充実・「プログラミング講座」の試行）
- ・会員相互の親和連携の推進

### (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

## 2 事業計画

### (1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム2019」 11月9日（土曜日）

- ・開会式 開会式の中で、本会運営に貢献された役員の報賞を行う。
- ・講演会 教育講演会等（形式・内容等を検討中）
- ・懇親会 教育功労者・報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。

### (2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設 夏季休業中に2回程度
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力（第33回市教研大会）
- ・組織局（壮年・青年部）への研修補助
- ・日連教大会への参加（研修補助）
- ・会報「松山市教育会情報」の充実（年3回発行）

98号（6月1日発行）

99号（10月1日発行）

100号（2月1日発行）

- ・「文教月報」執筆協力

### (3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助

#### ア 囲碁将棋教室

月1回（第1土曜日午後）

#### イ 俳句交換会

毎月 講師 吉田 晃 先生  
講師 近藤 良郷 先生

#### ウ ヨガ講座

月1回（第2土曜日午後）

講師 藤本ヨガ学院

（協坂 恭子先生）

#### エ 川柳教室

月1回（第3水曜日午後）

講師 栗田 忠士 先生

#### オ 詩吟教室

月2回（月曜日午前）

講師 伊賀上峰山 先生

#### カ プログラミング講座（試行）

年15回（土曜日午前）

講師 畑中 靖祥 先生

- ・慶弔関係

#### ア 高齢慶祝者

傘寿（本年度中に満80歳になられる方）17名

白寿（本年度中に満99歳になられる方）3名

#### イ 物故者への弔慰（支部長と連携）

### (4) 対策活動

- ・「教育を語る会」の企画・運営（市教研と共催）
- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

## 令和元年度 予算書

松山市教育会

## 歳入

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
I	総収入	9,077,208	9,121,827	△ 44,619	
	1 繰越金	1,599,608	1,601,327	△ 1,719	前年度からの繰越金
	2 会費	7,432,500	7,475,000	△ 42,500	2,500×(855+2,110) + 1,000×20
	3 助成金	20,000	20,000	0	県教育会から
	4 雑収入	25,100	25,500	△ 400	利息・その他

## 歳出

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
II	総支出	9,077,208	9,121,827	△ 44,619	
	1 県教育会納入金	2,975,000	2,992,500	△ 17,500	1,000×(855+2,110) + 500×20
	2 事務局費	492,080	532,200	△ 40,120	
	① 事務手当	375,000	375,000	0	職員手当
	② 事務用品費	50,000	50,000	0	用紙・封筒・文具等
	③ 通信運搬費	67,080	107,200	△ 40,120	切手・はがき・送料等
	3 会議費	684,000	660,000	24,000	
	① 総会費	245,000	240,000	5,000	旅費・会場費
	② 理事会費	150,000	150,000	0	旅費・会場費(4回)
	③ 支部長会費	224,000	215,000	9,000	旅費・会場費(3回)
	④ その他の会議費	65,000	55,000	10,000	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
	4 支部活動費	1,246,250	1,281,500	△ 35,250	各支部へ(950×855+2,000×82) ブロックへ(30,000×9)
	5 調査研究費	77,000	89,000	△ 12,000	教育講座・部会費等
	6 福利厚生費	1,225,000	1,140,000	85,000	慶弔費・文化講座, HP作成等
	7 対策費	70,000	78,000	△ 8,000	研修会・部会等
	8 広報費	255,000	267,000	△ 12,000	「市教育会情報」3回発行
	9 記念事業費	520,000	525,000	△ 5,000	「フォーラム2019」(えひめ教育の日関連事業)
	10 日連教大会費	139,000	160,000	△ 21,000	旅費・参加費(滋賀大会)
	11 補助金・負担金	590,160	592,909	△ 2,749	市教研大会・青壮年部補助、各種団体負担金
	12 予備費	803,718	803,718	0	



開会式



功労者表彰

## 令和元年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	清水 昇	味生第二	O B	
副会長	橋本 雅邦	河野	O B	
副会長	齊藤 照夫	生石小	市教研会長	新規
副会長	友近 裕識	久米小	小校長会長	新規
副会長	相原 孝裕	東中	中校長会長	新規

## OB

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1区理事	藤本 宜彦	味酒	O B	
2区理事	伊賀上 郁夫	桑原	O B	
3区理事	関谷 芳郎	さくら	O B	
4区理事	築山 勉	三津浜	O B	
5区理事	三好 龍二	久枝	O B	
6区理事	平野 忠司	湯山	O B	
7区理事	明賀 壽雄	石井北	O B	
8区理事	西原 司	小野	O B	
9区理事	濱本 昇	栗井	O B	

## 現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	高岡 秀人	伊台小	市教研副会長	
理事	有森 和明	北条南中	市教研副会長	
理事	茨木 里子	さくら小	市教研副会長	新規
理事	渡部 ゆかり	余土中	研究部長	新規
理事	田中 祐二	椿中	法制対策部長	
理事	渡部 万美江	八坂小	情宣部長	新規
理事	井上 英明	素鷺小	編集部長	
理事	梶本 浩智	姫山小	福利厚生部長	
専門部員	藤本 浩平	たちばな小	壮年部代表男	新規
専門部員	岡本 知子	久枝小	壮年部代表女	新規
専門部員	豊田 高広	北久米小	青年部代表	
専門部員	萩山 雅彦	椿小	事務職員部代表	新規
専門部員	宇高 淑文	立岩小	へき地・小規模校部代表	新規
専門部員	三好 英子	荏原小	養護教員部代表	新規
専門部員	紺田 幸子	たちばな小	栄養教員部代表	
専門部員	高月 知代	北条小	小学校教頭会代表	
専門部員	大角 秀則	小野中	中学校教頭会代表	新規

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
監事	道上 修二	小野	O B	
監事	岩本 正昭	北条北中	市教研監事	
事務局	山地 裕司	愛媛文教会館内	市教研事務局	新規
	大田 宏美			

## 趣くままに

松山市教育会たちばな支部 山本和子

昨年、定年まで1年を残して退職し、はや1年が経ちました。退職したら・・・と心に秘めていたことを少しずつ叶えながら、ただただ気ままに日々を送っているだけなのですが、ここでそのいくつかを紹介しします。

蔵書数は、約70万冊。我が家の蔵書数ではなく、以前勤務していた県立図書館の蔵書数です。現職時代から夜眠りにつくまでのひととき、本のページをめくる時間を楽しみの一つとしていた私にとって、白昼堂々と好きなだけ本が読めることは、今何よりの喜びです。県立図書館の本は、私の本棚のようなものと考え、月に2回程度通っています。貸出票を読書記録ノートに貼って、これからどれだけ読めるかなと思いを巡らせています。ちなみに昨年1年間で、購入した本を含めると約150冊の本を読んだこととなります。しかもまだ裸眼で。

大学時代に、仮名文字で書かれた源氏物語を読む講座を受講しました。仮名文字がすらすらと読めたらカッコいいなと思いつつ、その気持ちをすっかり忘れていたのですが、ふとしたことで、慶応年間に生まれた先祖の墓碑に刻まれた辞世の和歌をだれも読み解くことができないことを知り、それならば私ごと、1年前から「古文書解読講座」を受講し始めました。月に1回ですが、ちょっとした学生気分が味わえ、脳トレにも役立っています。うれしいことに、そこでは私が何と若者の部類、そして30年度は皆勤賞をいただきました。

また、大学時代のオーストラリアでのホームステイをきっかけに、その後も交流が続いているホストファミリーとのコミュニケーションのため、英語の勉強も細々と続けています。退職を機に、自分の実力はどれくらいなのかを知りたいと思い、問題集を買って勉強し、先般「TOEIC」テストを受けてみました。試験会場の中での最年長は言うまでもなく私でしたが、あまり恥ずかしさは感じませんでした。結果が分かれば、次の数値目標を立てて、これからもコツコツ頑張っていこうと思っています。その一助になればと思い、6月末からカナダに短期留学をする予定です。

それ以外には、庭に小さいキッチンガーデンを作り、野菜栽培にも取り組んでいます。初めての経験のなかで、ほうれん草や水菜、春菊が生長したあとにはかわいい花が咲くことに驚きました。時間ができて、ソーイングも好きなときにできるようになりました。娘からのリクエストに応じて、初孫のための洋服も随分と縫いました。パンやスイーツを焼く頻度も以前より増え、これまた家族のリクエストに喜んで応えています。

さらに、美術館や博物館、特長のある図書館などを訪ねるのも楽しいもので、用事で県内外に出かけたときに、うまく組み合わせ立寄りすることにしています。

退職してからは、家事以外でその日のうちに絶対にしなければならないことはほとんどなく、自分がしたいことをしたいときにすればよい生活です。体力保持のための日々のウォーキングと脳トレあれこれをライフワークとし、59歳で亡くなった夫の分まで人生を豊かに幸せに生きていきたいと思っています。「じっとしてないで、いろいろなことをしている君が君らしい。」という夫の声に後押ししてもらい、趣くままに今日もまた。



ゆすはら雲の上の図書館



大阪府立中之島図書館

## 文化講座紹介

—三十年度会員の作品—

## ●俳句

柿日和興福寺まで歩かうか

池田 本庄

風光る新居のカーテン萌葱色

泉 ふたば

落椿今なほ生きる艶やかさ

小池 郁子

雪しんしん微かにジャムの煮ゆる音

姫野 だるま

物干しの嬰の肌着や風光る

松任谷 由実男

どよめきの真ん中にある本まぐろ

松本 豊香

田水張る秋田の杉に喪服掛け

宮田 頼行

蛍火は素数のように現われる

三好 靖子

鈴虫の鳴き初め日記の冒頭に

森田 章夫

湯豆腐の白さをすくう春深し

晃

## ブロック紹介

## 第2ブロック 新良 重徳

第2ブロックは、新玉・雄郡・素鷲・桑原・たちばな・双葉の小学校6校と、拓南・雄新・桑原・城西の中学校4校の計10校で構成されている。どの学校も石手川にほど近く、一方では昔ながらののどかな田園の中に立ち、また一方では幹線道路付近の商業地帯や住宅街に位置しているという、様々な景観をもち合わせたブロックである。

我がブロックでは、ここ数年、OBと現職の交流事業として懇話会を実施している。かつては日帰り旅行や観劇なども行っていたが、平日の日中の実施ともなると現職の参加は叶わない。教育会の大きな目的の一つであるOBと現職との親睦を実現するため、「交流事業は真に交流できるものに！」と話し合ったのは28年度のこと。その年から毎年秋の夜に、懇話会を開催しようということになった。

どの年の懇話会でも、OBも現職も和気あいあいと杯を交わし、和やかな時間が流れている。ただ、参加した現職の教員は管理職がほとんど。それを憂えた桑原中の吉田慎吾校長先生が、30年度は職場の先生にこの懇話会の意義を伝え、多くの方を連れてきてくださった。会の参加者は総勢71名！現場では運動会・体育祭が終わり、息つく間もなく研修や中学校の新人体育大会など、多忙を極める10月の開催にもかかわらず、60名にも上る現職の先生に参加していただいた。

おかげで例年行っていた自己紹介はOBの方のみとなったが、ユーモアあふれる自己紹介が楽しく、現職の先生からの各校の特色ある学校紹介も工夫が凝らされていた。

さて、世話係支部の支部長による乾杯の後、現職の先生は我先にとOBの方との交流を求めに席を立っていった。また、本ブロック理事の伊賀上郁夫先生の日本一の吟詠あり、プロ歌手の矢野聖寿先生や有志の方のカラオケあり、美しく力強い歌声は70名の聴衆の心を震わせるものだった。中には我が子の恩師や自らの教え子との再会もあり、実に楽しく、有意義な時間を過ごすことができた。

時間を忘れてOBの先生方と語り合うという貴重な時間は、現職の先生にとって今後の教職人生において大きな財産となるに違いない。年に一度の交流ではあるが、またとない機会として、今後ともこの懇話会を大切にしたい。また、ここから交流の輪が広がるとよいと切に願う。